

STAX 新製品ニュース #1 1989 Autumn

SRM-1/Mk-2 PP ¥65,000
DRIVER UNIT for EARSPEAKERS with 2-PRO BIAS OUTPUTS & AS-CAST PC-OCC CABLE

●イヤースピーカーと言えば コンデンサー型のヘッドフォンの代名詞。その Professionalシリーズは1982年にSR-Lambda (Λ) Proから始まりました。コンデンサー型のヘッドフォンでは振動膜と固定極（静電気の力で固定極が振動膜を引いたり押したりする）の間のギャップが最大音圧レベルを決定する大きな要因ですが、そのギャップを大きく（0.3mm から0.5mm）にし、バイアス電圧（振動膜に加える直流電圧）を230Vから580Vに高くしたのが、Professional シリーズです。イヤースピーカーを鳴らすには今 申し上げたバイアス電圧以外にシグナル電圧（音楽信号など）として約300V (rms) が必要ですが、SRMシリーズはこの両方を作り出す回路を内蔵しています。

このSRM-1/Mk-2 PPは Professional シリーズのイヤースピーカーが2台同時に聴けるよう、プロ用のイヤースピーカー・出力端子を2組用意し、更に内部配線材としてPC-OCCアズキャスト線を採用、音の質を更に向上させています。

（アズキャストとは：一般の銅線はある太めの条〔例えば直径8mm〕に鋳物として作った材料を何度もダイス〔穴のあいた金属の円板〕を通し、最終的に0.1mm位の太さに仕上げそれを何本か撚り合わせて電線にして使うのですが、この工程によって銅の結晶が変形し 結果として、電子の流れを阻害することが予想されます。この結晶の変形を嫌って、始めから細く〔SRM-1/Mk-2 PPで採用した線材は1.5mmに〕鋳ってしまい、そのままの太さで使用する——という新しい考えかたで作られた電線です。このアズキャスト線を作るには、最新の設備と細心の注意、純度の高い銅の材料などが必要な為、まだ価格がやや高めですが、私どもの実験によると今入手できる銅線の中で、最も優れたものの一つと言って差し支えないでしょう。なおこの銅線は線材として 単品販売もしております。〔総合カタログ最後を参照〕この様にして作られたPC-OCCアズキャスト線を採用したSRM-1/Mk-2PPはイヤースピーカーを音質やノイズのチェックに使用する際、同時に複数のリスナーでチェックしたい場合に是非お勧めしたいドライバーユニットです。もちろん音楽を楽しむのにも最適な製品です。

- 規格●周波数特性：DC～20kHz/±1dB以内・SR-Λ Professional 1台使用時 ●増幅度：60dB ●高調波歪率：0.05%/1kHz/100V SR-Λ Professional 1台使用時
- 入力インピーダンス：50kΩ
- 標準入力レベル：100mV
- 最大出力電圧：370V/1kHz
- バイアス電圧：580V×2
- 電源電圧：AC100V±10%
- 50～60Hz ●消費電力：33W
- 使用温度範囲：0～40°C
- 寸法：W150×H87×D370mm
- 重量：2.0kg

